

わらい

- 自分の進路にかかる費用を具体的に算出することにより、現実的に必要な進学費用を早めに知り、学習意欲を高める。
- 進学を経済的に支援する様々な制度について知り、保護者と相談をすることで、意欲的に進学に向き合う。
- 教育資金は、長期経済設計の必要性があることを理解する。

使い方

(1) 受験から卒業までのステップを3段階に分けて指導する。

<第1段階> 受験から合格までの費用を算出する

- ①自分の希望する受験先の募集要項代や受験料、受験旅費、宿泊費、雑費を計上する。
受験料は自分で進路室や学級の資料で調べることを基本とするが印刷資料を与えてもよい（資料1）。
- ②受験旅費や宿泊費はインターネットや旅行会社資料を用いて調べる。学割使用や宿泊予約についても考えさせる。

<第2段階> 合格から入学までにかかる費用

- ①自分の入学希望の学校の納付金を調べる。授業料は1年次ものを記入する。前期分の授業料を計上する場合は後期分をその3の授業料に加える。志望校の決定ができていない場合は資料1～資料3を参考に記入する。
- ②住居関連費の前家賃、礼金・敷金、仲介手数料はワーク6で算出した物件の経費を記入するとよい。
前家賃には管理費も含める。
- ③新生活費用は、ワーク7で算出した家電・家財道具リストの合計金額を記入する。資料5の全国平均303,400円と比較してみる。
- ④引っ越し費用については住宅情報誌等にも広告が掲載されているので調べやすいが、資料4からおおよその経費を記入する。
- ⑤ワーク3の「その他の雑費」（13ページ）は、入学当初の雑費として記入する。
- ⑥教科書代については、資料5を参考にする。
- ⑦受験から入学までにかかる費用を合計し、親に用意をしてもらう金額を知る。

<第3段階> 学生生活にかかる費用

- ①授業料は、1年次ものを除き、2年次以降の合計を記入する。
 - ②仕送り費用は家族で話し合って決めた額が望ましいが、できない場合は資料8、本書25ページの資料1やワーク5も参考に記入する。安易なアルバイト収入の見込みはしないようにする。また、免許取得や合宿費など不規則出費もある（資料6）。
 - ③奨学金については、日本学生支援機構やその他の奨学金、各種教育ローンを知り、有効活用をするよう具体的に調べる（資料8）。
奨学金の返還例や教育ローンの利息について資料8やワーク9を参考とする。
- (2) 受験から卒業までの全経費を計算し、進学に関わる費用の全容を認識する。
- (3) 全経費を算出後、感想を記入する。

指導上の留意点

- (1) 進学費用のシミュレーションを行うことにより、日々の学習を見直し学習意欲が高まるよう指導する。
- (2) 費用面からもしっかりした受験計画が必要なことを理解させる。
- (3) 家庭においてもお金とのつきあい方を教える絶好の機会であるので、家庭での話し合いがスムーズにできるよう個人に応じて適切なアドバイスを心がける。
- (4) お金の面からだけのアプローチは、ややもすると進学の断念につながることもあるので注意する。
- (5) 就職希望の生徒にはワーク4を行うか、もしくは資格取得の観点から専門学校を調べさせることもできる。適宜学校の実情に合わせて演習させる。

発 展

- (1) 進学先の学校の納付金合計を授業日数で除して授業の経済的価値を割り出し、高等学校と比較してみよう。
 高等学校の学費については **資料7** の表を参考にして自分の学校の費用を使って計算するとより身近になる。授業日数には差があるが高校は180日、大学等は140日位を目安にする。
- (2) 受験から卒業までの全経費を総授業日数で除して学生生活の1日の経費を割り出し、その価値について考えてみよう。

参考資料

資料1 国公・私立大の「受験料」(令和元年度の例)

センター試験 (3教科以上受験)	18,000円 (成績通知希望者は18,800円)
センター試験 (2教科以下受験)	12,000円 (成績通知希望者は12,800円)
国立大 (2次試験)	17,000円
公立大 (2次試験)	17,000~18,000円
私立大 (文・理系)	30,000~35,000円
私立大 (センター試験利用)	10,000~20,000円 (センター試験受験料とは別途)
私立大 (医・歯)	40,000~60,000円

出所：大学入試センターおよび各大学のホームページより作成

資料2 国公・私立大ほかの「初年度納付金」(平成29年度)

(単位：円)

	授業料	入学料	施設整備費	合計
国立大学	535,800	282,000	—	817,800
公立大学	538,294	394,225	—	932,519
私立大学	900,093	252,030	181,294	1,333,418
私立短期大学	699,876	244,948	174,548	1,119,372
私立高等専門学校	455,478	202,609	127,174	785,261

出所：文部科学省「平成29年度私立大学等入学者に係る初年度学生納付金平均額（定員1人当たり）の調査結果について」より抜粋
 (注) 1. 国立大学の額は、国が示す標準額。なお、平成30年度も同額。
 2. 公立大学の入学料は、地域外からの入学者の平均。
 3. 調査学校数は、私立大学580大学、私立短期大学300大学、私立高等専門学校3校。
 4. なお、私立大学の「実験実習料」、「その他」については、下記の **資料3** を参照。

資料3 平成29年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額（定員1人当たり）

(単位：円)

	学 部	授 業 料	入 学 料	施設整備費	実験実習料	そ の 他	総 計
文科系	文・教育	790,025	233,136	162,950	12,210	83,897	1,282,219
	神・仏教	729,327	214,288	159,613	3,302	51,081	1,157,611
	社会福祉	747,726	214,439	183,025	10,405	72,726	1,228,321
	法・商・経	777,446	232,284	142,784	7,086	62,454	1,222,055
	平均	781,003	231,811	152,496	9,236	71,317	1,245,863
理科系	理・工	1,068,849	242,670	162,827	58,391	58,960	1,591,697
	薬	1,435,167	341,541	305,834	31,700	66,238	2,180,479
	農・獣医	965,891	246,282	200,987	130,307	37,524	1,580,992
	平均	1,101,854	254,941	184,102	62,883	57,539	1,661,318
医歯系	医	2,667,583	1,325,507	1,050,137	326,681	1,667,737	7,037,645
	歯	3,167,038	563,403	558,798	2,448	959,137	5,250,824
	平均	2,847,940	1,050,306	872,711	209,598	1,411,857	6,392,413
その他	家政	806,677	255,704	190,722	50,842	105,449	1,409,394
	芸術	1,108,953	259,312	267,937	41,502	93,907	1,771,611
	体育	814,856	258,265	221,032	42,968	87,874	1,424,994
	保健	995,575	272,467	232,766	111,237	83,986	1,696,031
	平均	957,495	264,503	230,103	75,651	90,863	1,618,616
全平均		900,093	252,030	181,294	34,069	88,242	1,455,729

出所：文部科学省「私立大学等の平成29年度入学者に係る学生納付金等調査結果」

- (注) 1. 昼間部の定員1人当たりの年額。580大学についての集計。
 2. 医学部看護学科は「医」区分に含まず、「保健」区分に含める。

資料4 引越しに関する広告の一例

引越は 安いほどよい

シングル女性・学生さん大歓迎!
6,000円～フリー便あります
2km～2時間以内～1階～1階
ハンガーBOX、ふとん袋
貸し出し有ります
倉庫一時預かり1ヵ月
3,000円～引受けます

都内1F→1F

8,000円より

エアコン脱着 ¥9,800～

単身者専門
小さな引越
全国

- 24時間受付
- 年中無休
- 倉庫保管
- エアコン移設

☆基本料金☆

1R ¥8,000～
1DK ¥12,000～
2K ¥16,000～
2DK ¥20,000～
お電話下さい

経済コース

1t車 (ワンルーム) 15,000円～
2t車 (1DK～2K) 20,000円～
3t車 (2DK～3K) 27,000円～
4t車 (3DK～3LDK) 50,000円～

らくらくコース (荷造り付)

1t車 (ワンルーム) 35,000円～
2t車 (1DK～2K) 45,000円～
3t車 (2DK～3K) 63,000円～
4t車 (3DK～3LDK) 85,000円～

早期予約割引中! 年中無休

資料5 受験・入学時の費用の比較 (全国平均)

(単位: 円、有額平均値)

	自宅生	自宅外生(寮生除く)
出願をするためにかかった費用	164,500	133,600
受験のための費用	17,600	81,200
入学した大学への納付金	789,300	730,300
入学しなかった大学への納付金	304,800	304,100
合格発表時や入学手続きの費用	4,100	37,600
入学式出席のための費用	4,600	42,200
教科書・教材購入費用	169,600	213,400
住まい探しの費用	—	195,500
生活用品購入費用	84,900	304,400
引越代・荷物の送料	—	30,200
4月分の生活費	41,300	65,300
予備の貯金	94,900	124,800
保険料	30,000	41,900
生協出資金	18,600	18,300
お礼・お祝い返し・その他	43,800	83,300
合計	1,418,200	2,068,400
後期納付予定金額	452,100	361,100

出所: 全国大学生生活協同組合連合会「保護者に聞く新入生調査報告書」(2019年度)

(注) 1. 有額平均値とはゼロ円と無回答を除く平均額。
2. 各費目の金額および合計額は、「有額平均値」で表示した各々の平均額。そのため各費目の平均額を合計したものと、合計の平均額は一致しない場合がある。

資料6 日常の生活費以外でかかった費用トップ10

(単位: 円、有額平均値)

女子	
1	留学 366,800
2	運転免許 248,400
3	各種スクール 124,000
4	海外旅行 119,600
5	耐久消費財 87,500
6	引越し 86,700
7	その他 77,400
8	国内旅行 56,200
9	就職活動 47,800
10	合宿代 44,200
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; color: white;"> 女子 合計額 213,600 </div>	
男子	
1	留学 357,400
2	運転免許 244,300
3	海外旅行 144,900
4	各種スクール 104,900
5	耐久消費財 90,800
6	引越し 77,900
7	その他 73,100
8	国内旅行 55,800
9	就職活動 48,200
10	合宿代 46,000
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; color: white;"> 男子 合計額 193,700 </div>	

出所: 全国大学生生活協同組合連合会「CAMPUS LIFE DATA 2018」(2019年3月)
(注) 有額平均値とはゼロ円と無回答を除く平均額。

資料7 高等学校(全日制)の学校教育費

(単位: 円、年額)

	公立	私立
学校教育費	280,487	719,051
授業料	25,378	230,026
修学旅行・遠足・見学費	35,579	53,999
学級・児童会・生徒会費	20,385	18,179
PTA会費	6,989	11,360
その他の学校納付金	27,771	183,518
寄付金	215	2,942
教科書費・教科書以外の図書費	22,432	23,455
学用品・実験実習材料費	18,826	19,220
教科外活動費	40,427	56,224
通学費	45,866	73,402
制服	22,613	30,275
通学用品費	10,953	10,366
その他	3,053	6,085

出所: 文部科学省「子供の学習費調査」(平成30年度)

資料8 奨学金の種類と教育ローン

◎日本学生支援機構

(1) 奨学金の種類

第一種奨学金	無利息	(注)参照
第二種奨学金	年3%を上限とする利息付(在学中は無利息)	

(注)第一種奨学金の返還方法
「定額返還方式」か「所得連動返還方式」のいずれかの返還方式を選択できる。「所得連動返還方式」は、貸与終了後の収入・所得に応じて月々の返還額が変動するため、無理なく奨学金の返還を続けていくことができる。なお、「所得連動返還方式」を選ぶ場合は機関保証(保証料が必要)となる。

(2) 学力基準と家計基準 ※詳しくは、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

第一種奨学金(無利息)	
学力基準	家計基準の目安【4人世帯の場合】
申込み時までの高等学校等の成績の平均が5段階評価で3.5以上 住民税(市区町村民税所得割)非課税世帯・生活保護受給世帯の生徒または社会的養護を必要とする人(児童養護施設入所者等)については、この学力基準に満たなくても、学習意欲があれば申込みできます。	家計収入(年額)が747万円以下 住民税(市区町村民税所得割)非課税世帯・生活保護受給世帯の生徒または社会的養護を必要とする人(児童養護施設入所者等)については、家計基準を満たすものとして扱います。

給付奨学金	返還不要の奨学金	(注)参照
-------	----------	-------

(注)制度の詳細や最新の情報については文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」をご覧ください。
<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

第二種奨学金(利息付)	
学力基準	家計基準の目安【4人世帯の場合】
次のいずれかに該当すること ①申込み時までの高等学校等の成績が学校の平均水準以上であること ②特定の分野において特に優れた資質能力を有すると認められること ③学修意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められること	家計収入(年額)が1,100万円以下

(3) 貸与月額

第一種奨学金(最高月額)	区分	自宅通学者	自宅外通学者
	国公立の大学・短大・専門学校	45,000円	51,000円
	私立大学	54,000円	64,000円
	私立短大・専門学校	53,000円	60,000円

第二種奨学金	2万円～12万円までの間で選択できる(1万円刻み)。 私立大の医・歯・薬・獣医学課程で12万円を選択した場合に限り、希望により医・歯学課程4万円、薬・獣医学課程2万円を増額することができる。
--------	--

(4) 申込み方法など

進学前の場合は、進学する前年に在学する学校に申し出る。進学後は、毎年春に学校で奨学生の募集を行うので、在学する大学に申し出る。申込時に、人的保証制度または機関保証制度のどちらかを選択する。

(5) 奨学金の返還

返還は、貸与が終了した翌月から数えて7か月目から始まり、毎月口座から引落とされる。

①第一種奨学金(無利息)——大学学部で貸与(48か月)を受けた場合

	通学形態	貸与月額	貸与月数	貸与総額	返還月額	返還回数(年数)
国・公立	自宅	45,000円	48ヶ月	2,160千円	12,857円	168回(14年)
	自宅外	51,000円	48ヶ月	2,448千円	13,600円	180回(15年)
私立	自宅	54,000円	48ヶ月	2,592千円	14,400円	180回(15年)
	自宅外	64,000円	48ヶ月	3,072千円	14,222円	216回(18年)

②第二種奨学金(利息付)——大学学部で貸与(48か月)を受けた場合

貸与月額	貸与総額	年利	返還予定総額	返還月額	返還回数(年数)
30,000円	1,440,000円	3.0%の場合	1,761,917円	11,293円	156回(13年)
50,000円	2,400,000円	3.0%の場合	3,018,568円	16,769円	180回(15年)
80,000円	3,840,000円	3.0%の場合	5,167,586円	21,531円	240回(20年)
100,000円	4,800,000円	3.0%の場合	6,459,510円	26,914円	240回(20年)
120,000円	5,760,000円	3.0%の場合	7,751,445円	32,297円	240回(20年)

出所：日本学生支援機構「2019年度奨学金ガイド」「奨学金ガイドブック2019」をもとに作成

※年利率の上限は3%

◎日本学生支援機構以外の奨学金

地方自治体の奨学金	地方自治体で独自の奨学金制度を行っている都道府県・市町村がある(問い合わせ先：各自治体)。	新聞奨学金	新聞社が行っている新聞奨学金制度は販売所で働くことが条件(問い合わせ先：各新聞社)。
民間育英団体の奨学金	民間育英団体による奨学金制度は、企業や個人によって設立され、設立許可を受け奨学金の交付を行っている。それぞれ募集にあたっては各団体の依頼を受けた学校が窓口になる。	交通遺児育英会の奨学金	(財)交通遺児育英会(問い合わせ先：03-3556-0771)ホームページ https://www.kotsuiji.com/
		病気・災害自死遺児の育英制度	あしなが育英会(問い合わせ先：03-3221-0888)ホームページ https://www.ashinaga.org/

※また、学校独自の奨学金制度を行っている所もある。詳しくは進学先の学校に問い合わせをみよう。

◎公的機関の教育ローン

融資の名称	取扱機関	特徴	問い合わせ先
教育一般貸付	日本政策金融公庫	●1子につき350万円が融資限度額 ●返済期間は15年以内で、保護者の所得制限がある	0570-008656

出所：日本政策金融公庫ホームページ(<https://www.jfc.go.jp/>)より作成

◎民間の教育ローン

JA、労働金庫のほかさまざまな金融機関による教育ローンがある。